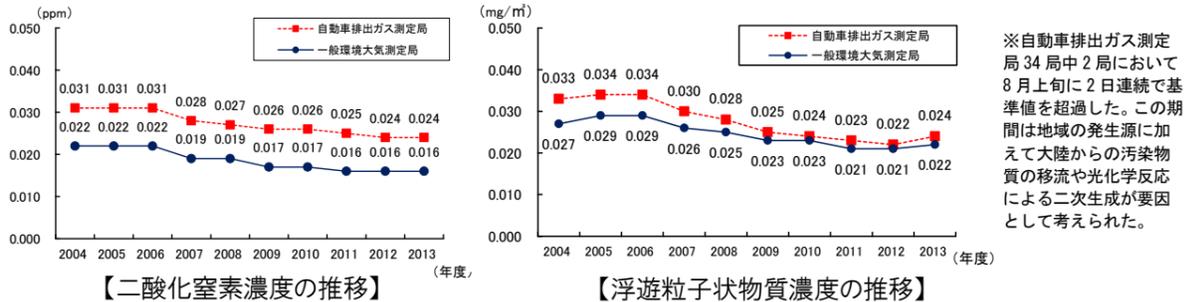


一般環境の状況

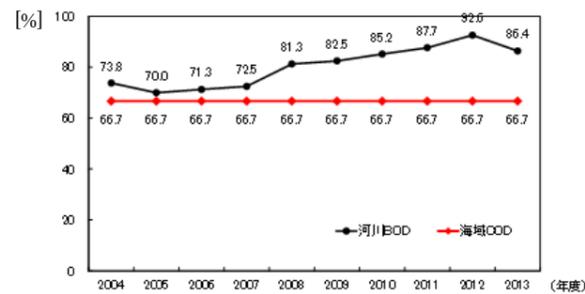
大気関係

○二酸化窒素(NO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)の濃度は緩やかな減少傾向にあり、2013年度はNO₂については全102局で、SPMについては101局中2局*を除いて環境保全目標を達成した。
○光化学オキシダント、微小粒子状物質(PM2.5)は全局で環境保全目標を達成しなかった。



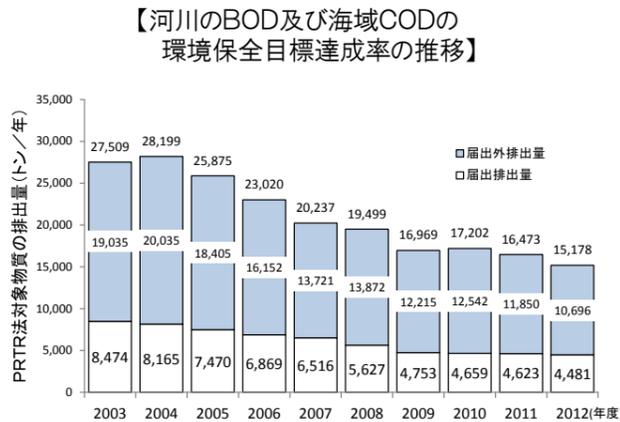
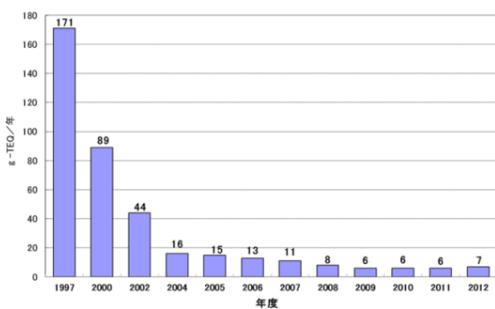
水質関係

○2013年度は河川BOD及び海域CODにおいて環境保全目標の達成状況は86.4%、66.7%と未達成の水域が残っている。(速報値)
○カドミウム等の健康項目は概ね達成している。(速報値)



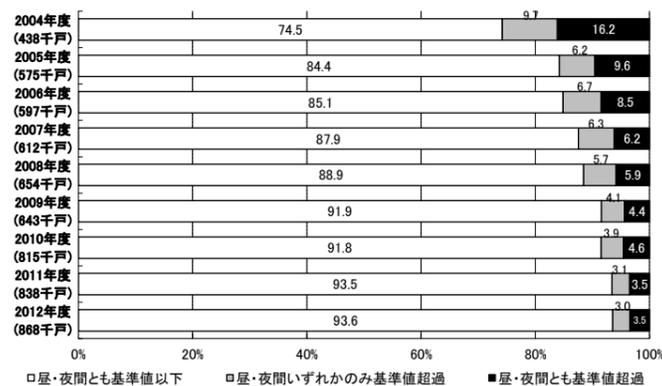
化学物質関係

○ダイオキシン類、化学物質の環境中への排出量は概ね減少傾向にある。



騒音関係

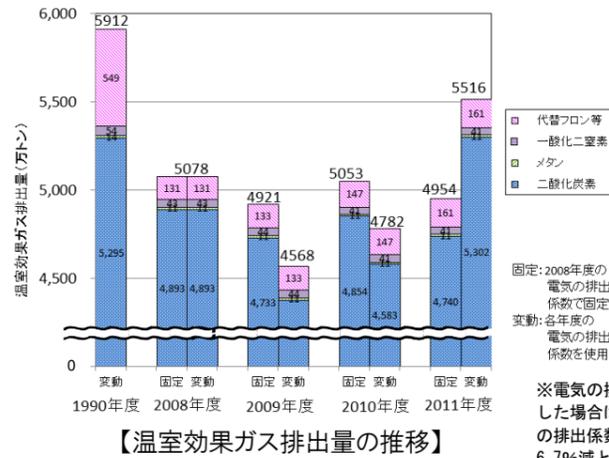
○道路沿道における騒音に係る環境保全目標の達成率は上昇傾向で推移している。



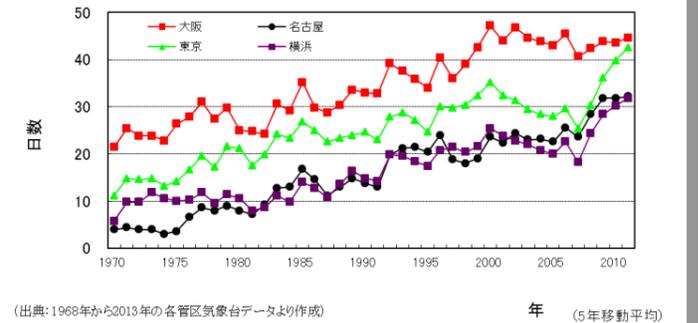
省エネ・省資源等に関する環境の状況

地球温暖化・ヒートアイランド関係

○温室効果ガスの排出量については、2011年度は基準年度(1990年度)と比べ16.2%減少*した。



○大阪の熱帯夜数については、近年40日を越えているが、2000年以降は減少傾向にある。

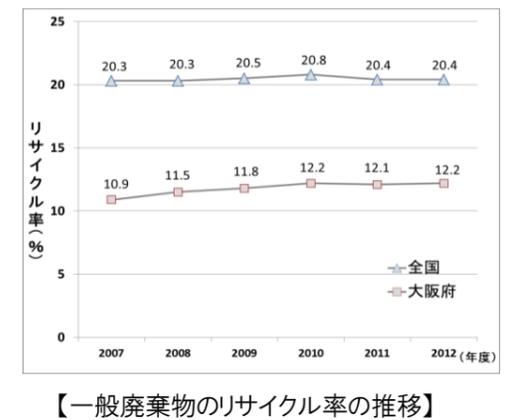


廃棄物の減量化・リサイクル関係

○一般廃棄物については、2012年度の1人1日あたりの排出量は5年間で16%減少している。



○2012年度の府内のリサイクル率は全国平均より低い、5年間で1.3ポイント上昇している。



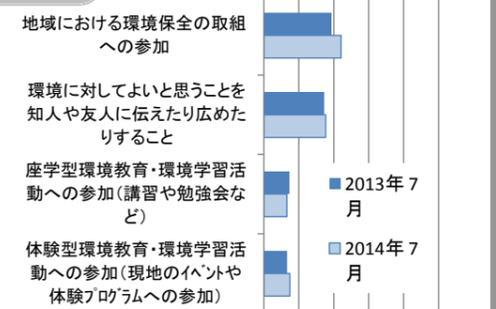
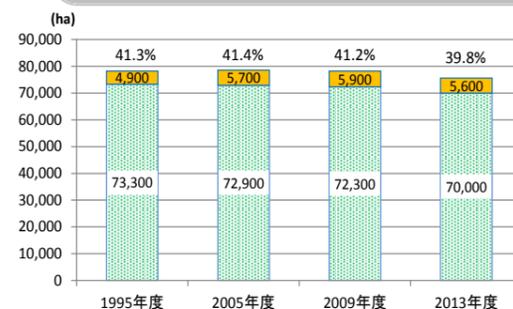
自然環境、参加・行動の状況

○府内の緑地面積*は、府域の約4割を維持している。

※「緑地」は、制度や施策の対象として把握されている「施設緑地(公園、公共緑地等)及び「地域制緑地(森林、農地、民有地緑地等)の合計面積。2009年度から2013年度にかけて減少している2,600haは、主に集計方法の変更によるもので、開発等により実際に緑地が減少した面積は約340ha。

○過去1年間に、府民の約4割強が地域の環境活動に、約1割強が環境学習に参加*。(参考値)

※ 府政モニター約2,300人を対象としたインターネットアンケート結果で、「府民の縮図」ではない。



【過去1年間に環境活動に取組んだ人の割合(対前年度比較)*】
※ 今年度と前年度両方のアンケートに回答したモニター約1,300名による。